増設コードレス子機 取扱説明書 BCL-D30K

子機の操作、注意事項については、親機の取扱説明書をご参照ください。

●付属品を確認する

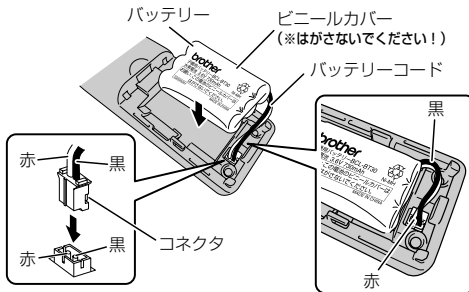
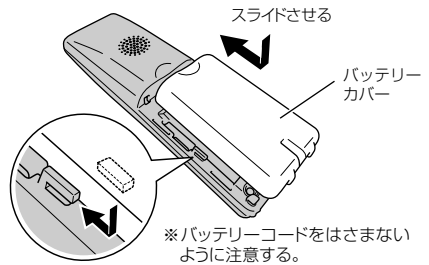
箱の中に次のものがそろっているか確認してください。
万一不足しているものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口（コールセンター）」にご連絡ください。

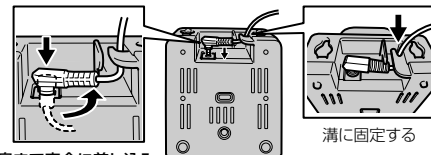
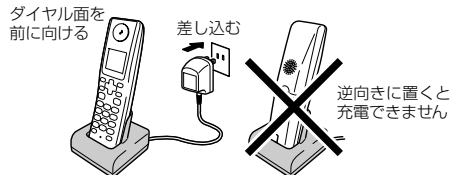
子機 1台	子機充電器 1台	子機用バッテリー 1個	子機用ACアダプタ 1個
	壁掛け用木ネジ 2本		
子機用バッテリーカバー 1個	子機IDシール	子機判別シール	
取扱説明書（保証書は取扱説明書に印刷されています。）			

子機を登録しましょう

- 登録をしないと子機はご利用になれません。
- 登録する前に、必ず12時間以上充電してください。

●バッテリーをセットする

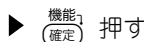
1 下図の向きにコネクタを差し込み、バッテリーをセットする

2 バッテリーカバーを閉める

●バッテリーを充電する

1 ACアダプタの電源プラグを充電器に差し込む

2 ACアダプタをコンセントに差し込み、子機を充電器にセットする

※子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。

●子機を登録する

・登録は、親機と増設するコードレス子機で行います。登録後、増設コードレス子機として使用することができます。
・2台以上の増設コードレス子機を登録する場合は、1台ずつ登録してください。
・子機の増設中は、他の子機を操作しないでください。
・増設される子機の子機番号は、登録順に1、2、3、4と設定されます。

FAX-310DL/DW/DE3、FAX-315DL/DW

1 子機を増設モードにする

ｺｷﾉ ｷﾉｳｦ
ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

▶ 機能/確定 押す

増設モードになります。

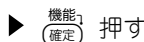
お願い

子機を増設モードにしてから、2分以内に手順2、手順3を終えてください。

2 親機の 機能/確定 1 5 を押す

ディスプレイに［ｿﾞｳｾﾂ　ﾓｰﾄﾞ］と表示され、子機増設モードになります。

FAX-360DL/DW

1 子機を増設モードにする

ｺｷﾉ ｷﾉｳｦ
ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

▶ 機能/確定 押す

増設モードになります。

お願い

子機を増設モードにしてから、2分以内に手順2、手順3を終えてください。

2 親機の 機能 1 8 を押す

ディスプレイに［子機増設モード］と表示され、子機増設モードになります。

注意

●あらかじめ下記の登録方法を一度お読みになってから、操作を始めてください。
●登録する際に子機のバッテリー残量が少ない場合は、子機の充電が完了した後で登録操作をしてください。

3 親機の 機能/確定 を押す

- ディスプレイに［ｿﾞｳｾﾂﾁｭｳ］と表示されます。
- 子機の登録が正しく完了したときは、ディスプレイに［ｾｯﾃｲ　ｼﾏｼﾀ］と2秒間表示され、子機増設モードに戻ります。

4 親機の 停止 を押す

- 待機状態に戻ります。
- 続けて子機を増設したい場合は、手順1～手順4を繰り返してください。

メモ

- 子機の増設が正しくできなかったときは、親機からエラー音が鳴り子機増設モードに戻ります。再度、登録しなおしてください。エラー後、2分以内の場合は、手順3から、2分以上経過している場合は、手順2から行ってください。
- 子機登録番号が連続していない場合は、一旦登録を消去してからやり直してください。（☞7ページ）

3 親機の 機能 を押す

- ディスプレイに［増設中です］と表示されます。
- 子機の登録が正しく完了したときは、ディスプレイに［設定しました］と2秒間表示され、子機増設モードに戻ります。

4 親機の 停止 を押す

- 待機状態に戻ります。
- 続けて子機を増設したい場合は、手順1～手順4を繰り返してください。

メモ

- 子機の増設が正しくできなかったときは、親機からエラー音が鳴り子機増設モードに戻ります。再度、登録しなおしてください。エラー後、2分以内の場合は、手順3から、2分以上経過している場合は、手順2から行ってください。
- 子機登録番号が連続していない場合は、一旦登録を消去してからやり直してください。（☞7ページ）

●子機を登録する

MFC-630CD/CDW、MFC-650CD/CDW、MFC-850CDN/CDWN、MFC-860CDN、MFC-870CDN/CDWN、MFC-880CDN/CDWN

1 子機を増設モードにする

ｺｷﾉ ｷﾉｳｦ
ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

▶ 機能 確定 押す

増設モードになります。

お願い

子機を増設モードにしてから、2分以内に手順2～手順4を終えてください。

2 親機の メニュー を押し

で［初期設定］を選び、

OK を押す

●子機の登録をしなおす

1 子機を増設モードにする

機能 確定 押す ▶ で「ｺｷｿﾞｳｾﾂ」を選ぶ ▶ 機能 確定 押す

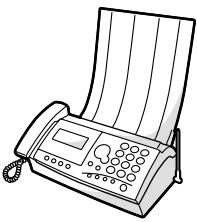
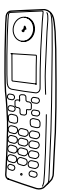
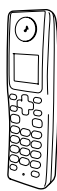
増設モードになります。

手順2以降は親機により異なります。ご使用の親機の「子機を登録する」を参照し、手順2以降を実行してください。

3 親機の[▲▼]で［子機増設モード］を選び、[OK]を押す

4 親機の[▲▼]で［増設］を選び、[OK]を押す

ディスプレイに[増設中]と表示されます。

5 親機の[停止/終了]（または[停止/終了]）を押す

待機状態に戻ります。

メモ

- 子機の増設が正しくできなかったときは、親機からエラー音が鳴り子機増設モードに戻ります。再度、登録しなおしてください。エラー後、1分以内の場合は、手順4から、1分以上経過している場合は、手順2から行ってください。
- 子機登録番号が連続していない場合は、一旦登録を消去してからやり直してください。(☞7ページ)

●内線番号について

- 増設コードレス子機を登録後、付属品の子機判別シールを貼り付けます。
- 子機からの内線番号のしかた、外線の取り次ぎかたは親機の取扱説明書を参照してください。

親機	コードレス子機			
	1台目	2台目	3台目	4台目
上記イラストはFAX-310DLです。	親機に付属	増設または親機に付属	増設または親機に付属	増設
内線番号	1	2	3	4

子機判別シール

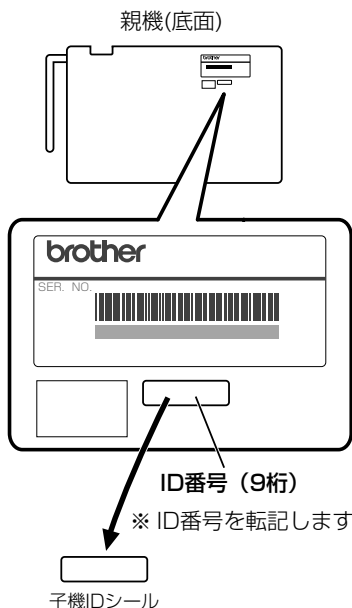
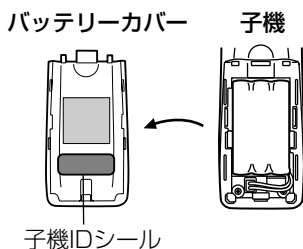
※増設できるコードレス子機は、親機に付属の子機を含めて4台です。

●子機にID番号を表記する

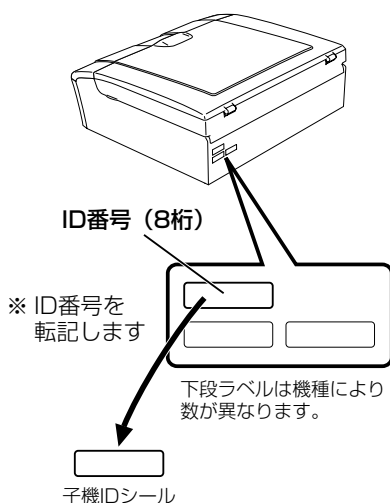
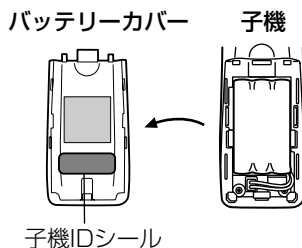
増設したコードレス子機には、必ず親機のID番号を表記してください。

FAX-310DL/DW/DE3、
FAX-315DL/DW、
FAX-360DL/DW

親機の**底面**にてID番号を確認します。

1 親機のID番号を付属品の子機IDシールに記入する

2 バッテリーカバーの内側に子機IDシールを貼り付ける

MFC-630CD/CDW、MFC-650CD/CDW、
MFC-850CDN/CDWN、MFC-860CDN、
MFC-870CDN/CDWN、
MFC-880CDN/CDWN

親機の**背面**にてID番号を確認します。

1 親機のID番号を付属品の子機IDシールに記入する

2 バッテリーカバーの内側に子機IDシールを貼り付ける

●増設したコードレス子機の登録を消去する

登録の消去は、親機で行います。子機の登録消去を行うと増設された子機は全消去され、親機の子機増設台数は0台になります。

注意

・あらかじめ下記の登録消去方法を一度お読みになってから、操作を始めてください。
・子機の登録消去中は、他の子機を操作しないでください。

FAX-310DL/DW/DE3、FAX-315DL/DW

1 親機の（機能/確定）（1ア）（5ナ）を押す

ディスプレイに[ｿﾞｳｾﾂ　ﾓｰﾄﾞ]と表示され、子機増設モードになります。

2 親機の（消去/キャッチ）を押す

ディスプレイに[ｺｷ　ｽﾍﾞﾃｼｮｳｷｮ?]と表示されます。

3 1分以内に親機の（1ア）を押す

増設した子機は全消去され、子機増設モードに戻ります。

FAX-360DL/DW

1 親機の（機能）（1あ）（8や）を押す

ディスプレイに［子機増設モード］と表示され、子機増設モードになります。

2 親機の（消去/キャッチ）を押す

ディスプレイに［子機増設をすべて消去しますか?］と表示されます。

3 1分以内に親機の[はい]を押す

増設した子機は全消去され、子機増設モードに戻ります。

MFC-630CD/CDW、MFC-650CD/CDW、MFC-850CDN/CDWN、MFC-860CDN、MFC-870CDN/CDWN、MFC-880CDN/CDWN

1 親機の（メニュー）を押す

2 （▲▼）で［初期設定］を選び、（OK）を押す

3 （▲▼）で［子機増設モード］を選び、（OK）を押す

4 （▲▼）で［登録子機を消去］を選び、（OK）を押す

ディスプレイに[子機増設をすべて消去しますか?］と表示されます。

5 親機の（1あ）を押す

増設した子機は全消去され、子機増設モードに戻ります。

安全にお使いいただくために

このたびは増設コードレス子機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この取扱説明書には、お客様や第三者への危害や財産への傷害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をお使いください。

危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される内容を示します。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は「してはいけないこと(禁止)」を意味しています。図中のイラストは、具体的な禁止内容を示しています。(左の例は分解禁止を意味しています。)

●記号は「しなければならないこと(指示)」を意味しています。図中のイラストは、具体的な指示内容を示しています。(左の例はプラグをコンセントから抜くことを意味しています。)

「してはいけないこと」を示しています。

「分解してはいけないこと」を示しています。

「電源プラグを抜くこと」を示しています。

「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。

「水ぬれ禁止」を示しています。

「しなければいけないこと」を示しています。

本書の記載について

お願い	誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
メモ	本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。
注意	本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。

- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口（コールセンター）」までご連絡ください。
- お客様や第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は使用の誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたときや、故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

＊取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

設置、配線についてのご注意

警告

・水のかかる場所（風呂場や加湿器のそばなど）や湿度の高い場所には設置しないでください。漏電による感電、火災の原因となります。

●以下のような場所で設置・使用しないでください。本製品の電波で、誤作動による事故の原因になることがあります。
・医用電気機器に近い場所（手術室・集中治療室・CCU（冠状動脈疾患監視病室）など）
・自動ドア・火災報知器などの自動制御機器に近い場所
・心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置

●たこ足配線はしないでください。
●電源コードやACアダプタを破損するようなことはしないでください。
また、下記の行為をしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
・加工する
・無理に曲げる
・高温部に近づける
・引っ張る
・ねじる
・たばねる
・重いものをのせる
・挟み込む
・金属部にかける
・折り曲げをくり返す

・バッテリー、充電器、ACアダプタは必ず専用のものをお使いください。
・バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
・国内のみでご使用ください。電波法上、海外ではご使用になれません。
・電源はAC100V50Hz、または60Hzでご使用ください。それ以外の電源電圧でご使用になると、火災や感電、故障の原因となります。

●火気や熱器具、揮発性可燃物やカーテンに近い場所に設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

注意

・直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所
・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所

・ACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。（本製品には電源スイッチが付いていません。）

・雷がはげしいときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。（ACアダプタは抜きやすいところに差し込んでください。）

お願い

• **本製品をお使いいただける環境は次の通りです。**
温度：5～35℃
湿度：45～80％
• **以下のような場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。**
・テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気の発生する場所
・エアコン、換気口など、風が直接あたる場所
・ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
・換気の悪い場所

使用する際のご注意

バッテリーについて

危険

・液漏れしたときは、液が皮膚や衣服に付着したり、目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

・分解、改造をしないでください。
・バッテリー端子をショートさせないでください。やけどをする可能性があります。
・コードの被覆やビニールカバーをはがしたり、傷をつけたりしないでください。

・バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。
・バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
・温度の高いところでは充電しないでください。
・金属製品と一緒に保管しないでください。
・バッテリーの極性（赤／黒）を間違えないように入れてください。
・電子レンジや高圧容器に入れないでください。

そのまま使用すると故障や火災、感電の原因となります。

警告

・分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。（法律で罰せられることがあります。）

・充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。

・煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

・いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。装置内部が結露するおそれがあります。

・火気を近づけないでください。

・本製品を落としたり、キャビネットを破損したときは、ACアダプタをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

・異物が入ったときは、ACアダプタやバッテリーを外して、コールセンターにご相談ください。

・差し込み部のホコリなどは定期的にとってください。電源コードをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

・電源プラグやACアダプタは根元まで確実に差し込んでください。傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。

その他のご注意

注意

・子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、けがの原因となることがあるので、確実に取り付け・設置してください。
・子機のスピーカーには磁石が使われています。金属片などを吸いつける可能性がありますので、金属片（ホチキスの針、がびょう、針など）がついていたら取り除いてご使用ください。

・長期間不在にするときは、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。

お願い

・落下、衝撃を与えないでください。
・正常動作中にACアダプタを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。
・指定以外の部品は使用しないでください。
・バッテリーをはじめて使用する際に、さびや発熱、その他異常と思われることがあったときは、使用しないでお買い上げの販売店に持参してください。

通話が途切れたり、雑音が入る場合について

●本製品は、2.4GHzの周波数帯の電波を使用しています。この周波数帯の電波は下記の機器でも使用しているものがありますので、これらの機器周辺では声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。なるべく、設置場所や使用範囲を離して下さい。

・火災報知器
・工場や倉庫などの物流管理システム
・マイクロ波治療器
・自動ドア
・自動制御機器
・アマチュア無線局
・電子レンジ
・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
・無線LAN機器
・鉄道車両や緊急車両の識別システム
・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
・その他、Bluetooth™対応機器やVICS（道路交通網システム）など

故障ではありません

電波を使用しているため、電話がかかってくると親機または子機の着信音が少し遅れて鳴ることがあります。これは故障ではありません。そのままお使いください。

“傍受”にご注意ください

●本製品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい製品ですが、コードレス子機を使っての通話は電波を使っているので、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。大切な通話は、親機のご使用をおすすめします。

“傍受”とは

●無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ 電波について

●**本製品は、2.40GHz～2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です**
移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80ｍです。
本製品には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4 FH8

●**本製品の使用周波数に関わるご注意**
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のため設置場所を変えるなどして互いに干渉が起きないようにしてください。

保証書

機種名	BCL-D30K
保証期間	本体1年

本書は、本書記載内容で**無料修理**（持込修理）を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、**お買い上げの販売店または、下記お客様相談窓口**に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	平成　年　月　日
お客様	ご芳名 様 〒□□□－□□□□ ご住所 電話　（　　）

販売店	住所・店名 印 電話　（　　）

ブラザー工業株式会社
〒467-0845 名古屋市瑞穂区河岸1-1-1
お客様相談窓口（コールセンター）
薄型複合機　MyMio
0120-590-381
パーソナルファクス
0120-161-170

保証規定

1）親機および本取扱説明書などの注意書にしたがった正常な状態で､保証期間内に故障した場合は無料で修理します。この場合は、表記の販売店にご依頼ください。
2）保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
・取扱い上の不注意、誤用による故障および損傷
・当社または表記販売店以外による修理・改造による故障および損傷
・火災、天災事変または異常電圧、公害、塩害などによる故障および損傷
・油煙、熱、塵、水、直射日光などの劣悪設置環境による場合
・本書のご提示がない場合
・本書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き替えられた場合
3）この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
4）故障、その他による営業上の機会損失は当社では補償いたしません。
5）本書は日本国内においてのみ有効です。
This warnty is valid only in Japan.

修理メモ

＊この保証書は､以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので､これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。